



2021年11月8日

各位

会社名 株式会社カクヤスグループ
代表者名 代表取締役社長 佐藤 順一
(コード番号：7686 東証第二部)
問合せ先 取締役 前垣内 洋行
(TEL：03-5959-3088)

月次報告 (2021年10月度)

2022年3月期10月度の月次速報についてお知らせいたします。

1. 売上高 (株式会社カクヤス単体) 前年同月比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	通期
業務用 (%)	315.3	108.6	69.4	71.2	48.0	54.5	78.3	93.4							81.4
家庭用 (%)	88.3	89.8	100.4	106.5	102.7	106.1	98.5	110.9							100.0
合計 (%)	140.1	95.1	83.0	86.4	72.4	75.5	88.4	99.7							90.3

- (注) 1 「業務用」とは、主に、居酒屋やレストランなどの業務用顧客コードを当社が付す料飲店、大手居酒屋チェーン店、その他の法人顧客のお客様からのご注文で発生する売上としております。
- 2 「家庭用」とは、「宅配売上」と「POS売上」を合わせた売上としております。
「宅配売上」…一般のご家庭やオフィス等(業務用向以外のお客様)からご注文を受け、配達することで発生する売上であります。
「POS売上」…各店舗にご来店頂いたお客様に、店頭でのPOSレジを通して購入ことにより、発生する売上であります。
- 3 当該データは子会社「株式会社カクヤス」単体の速報値であり、財務上の正式データではありません。また、決算確定前の数値によって算出しておりますので、確定後変更することがあります。

2. 月次コメント

10月につきましては、今年7月に再発令された約3か月間に及ぶ緊急事態宣言が解除され、25日には東京都におけるリバウンド防止期間による午後9時までの飲食店への時短要請も解除されました。

当社業務用売上につきましては、未だ飲食店での消費行動には慎重姿勢がみられるものの、当社得意先からの注文量は増加傾向にあり、客数(※)としては新型コロナウイルスの影響を受ける前の水準まで回復しつつあります。その結果、業務用売上高の前年同月比は93.4%となりました。

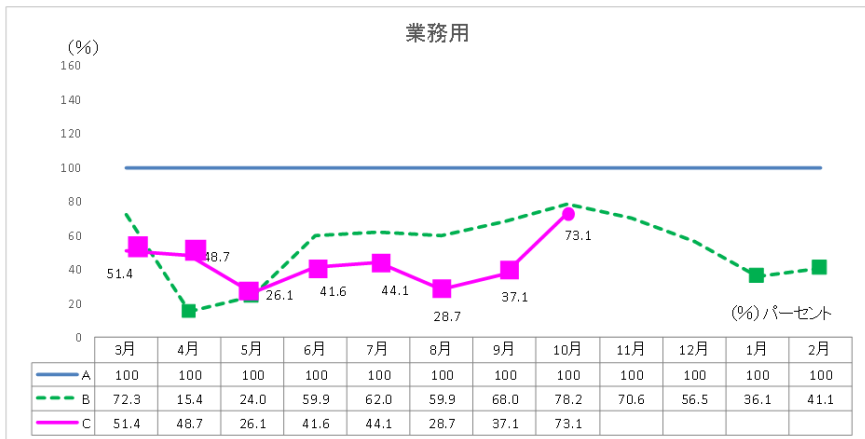
一方、家庭用売上につきましては、引き続き好調に推移しております。特に家庭向けの宅配においては、コロナ禍での認知拡大による新規会員数の増加の効果もあり、緊急事態宣言解除後も前年を上回る件数にて推移しております。その結果、家庭用売上高の前年同月比は110.9%となりました。

以上の結果、10月度株式会社カクヤス単体売上高(速報ベース)の前年同月比は99.7%となりました。

(※) …業務用の客数とは、1ヵ月に1回以上売上がある飲食店等の数(個店ベース)を指します。

参考) 上記のとおり売上につきましては、前年度より新型コロナウイルスの影響が生じており、前年同月比だけでは業績状況が分かりにくいいため、新型コロナウイルス影響前の2019年3月～2020年2月の売上を100%とした指数(以下、A:ベース売上)の資料も添付いたします。

※当該データは子会社「株式会社カクヤス」単体の速報値であり、財務上の正式データではありません。



(グラフの説明)

— A

ベース売上 (新型コロナ影響なし)

2019年3月～2020年2月

- - - B

新型コロナ影響1年目の売上

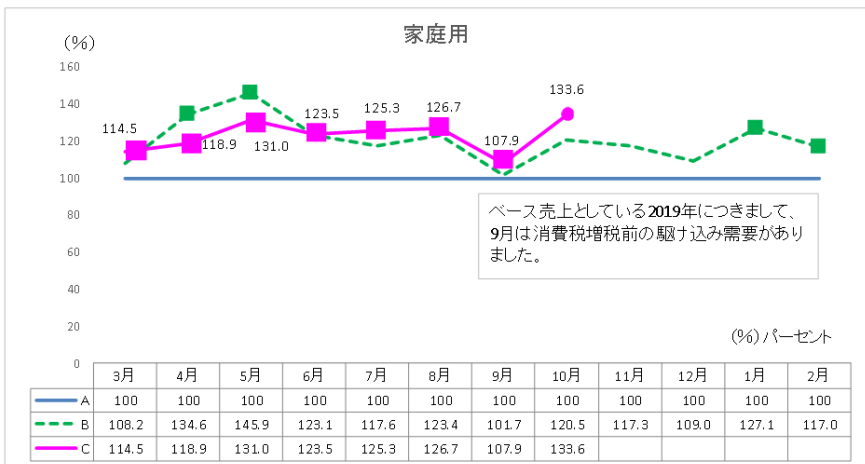
2020年3月～2021年2月

— C

新型コロナ影響2年目の売上

2021年3月～2022年2月

(■は、緊急事態宣言が発出されていた期間となる月を表します)

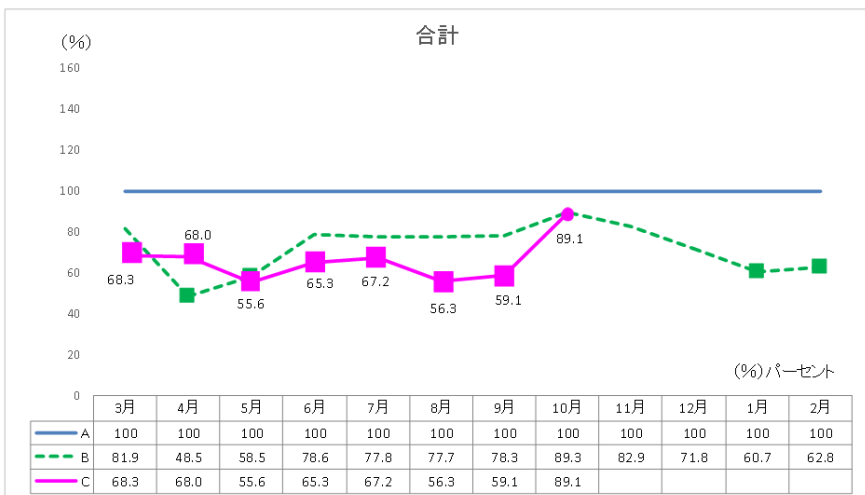


1回目：2020/4/7～5/25

2回目：2021/1/8～3/21

3回目：2021/4/25～6/20

4回目：2021/7/12～9/30



以上